

新着任者を迎えて ～大田原地域事務所新体制で頑張ります！～



バックから子供用
タンパリンが・・・



新メンバーを迎え、がんばります！

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井1陸尉）は、8月1日（月）、第32普通科連隊より黒崎岳志3陸曹が新たに着任し、所長以下、航空自衛官1名、陸上自衛官3名、非常勤隊員の6名で構成されることになった。

大田原地域事務所長統率方針は、「責務の完遂」、要望事項は、「1創造 2前進」であり、事務所全員で協力して、募集活動に励んでいる。また、担当エリアも9市町村を担当し、常に「打って出る広報」を行っている。特に最近では、市街地広報での募集用のティッシュもただ配るのではなく、人に話しかけるツールの一つと考え、「たかがティッシュ・されどティッシュ・やっばりティッシュ・」とティッシュの大切さに気付かされる日々を送っている。

ここで、新人広報官、黒崎3陸曹のお茶目なところを紹介する。事務所に出勤3日目、出勤用バックを開けると子供用のタンパリンが・・・（子供に入られてしまったとの事）子供にあらざり、「所長の指導のもと、少しでも早く戦力になり、事務所に貢献したい」と熱く語ってくれた。

大田原地域事務所は、「今後も、所長以下広報官で連携し新体制で募集に邁進していく」としている。

那珂川町「鮎のつかみ取り」イベントで 志願者をつかみ取りたい！！



賑わう自衛隊ブースの様子



ボンネットを開け説明をする支援隊員
（北宇都宮：末吉1曹）



説明をする広報官



募集パンフレットを熟読する鈴木相談員



水鉄砲コーナーを手伝う鈴木相談員

総力戦で挑み10件のイベント希望者の情報を獲得した。

大田原地域事務所は、「今後も、厳しい募集状況の中であるが、相談員そして地域と連携し積極的な広報で活路をみいだしていく」としている。



募集説明する鈴木相談員

8月11日（日）、自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井1陸尉）は、那珂川町において行われた「鮎のつかみ取り」で北宇都宮駐屯地及び募集相談員大田原支部の支援を受け広報展を実施した。

日本屈指の清流・那珂川は、天然鮎の漁獲高日本一といわれており、この「鮎のつかみ取り」イベントは、地域貢献行事として、約20年前から行われているものであり、県内外から多くの人で賑わいを見せた。

自衛隊ブースでは、1/2トトラックの展示、顔出しパネルの設置、制服試着及び水鉄砲射撃の体験を行った。1/2トトラックの展示では、ボンネットを開けて質問を受ける場面もあり、子供たちからは、「自衛隊の車に乗れてよかった」「自衛官がここのよ見え」などと自衛隊のブースを楽しんでくれた。また、募集相談員大田原支部（鈴木氏）からは、担当エリアの広報官との会話の中で「鮎のつかみ取り」イベントで、受験生を獲得したいね」と語りながら自衛隊ブースや、募集説明等の支援をして頂き、自衛隊PRに